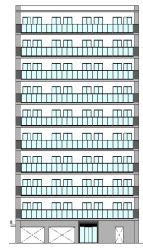


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀市衣笠栄町1丁目計画 新築工事	階数	地上10階、地下0階
建設地	神奈川県横須賀市衣笠栄町1丁目22番2ほか3番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	110人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年1月24日
敷地面積	910㎡	作成者	㈱日本エコー一級建築士事務所
建築面積	357㎡	確認日	2024年1月24日
延床面積	3,457㎡	確認者	㈱日本エコー一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	各住戸、光ケーブルが利用可能となっており、また仕上材や給排水配管において更新間隔が長くなるような材料を採用し最低限の地球温暖化対策を行う。	特になし
Q1 室内環境	開口部の遮音性能がT-2を採用している。断熱性能等級4	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	断熱性能等級4	LR3 敷地外環境 屋外に漏れる光について光害対策ガイドラインの部を満たし、広告物照明は行わない。
Q2 サービス性能	各住戸に光ケーブルが利用可能となっている。給水・給湯配管にはポリエチレン管を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	下地は軽量鉄骨+石膏ボードとなっており再利用のしやすい建物となっている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される